

種名	<u>ヌ カ エ ビ</u> <u>Paratya compressa improvisa</u> 
分類	十脚(じっきゃく)目ヌマエビ科
俗称	
形態的な特徴	体長は 20～30mm で、ヌマエビと別種であることが、最近分かった。
分布	本州中部以北に分布する。
繁殖行動	産卵期は5～8月。メスが自分の腹部に卵を産み付け、ふ化するまで1ヶ月ほど保護する。卵の数は300～400個程度。メスは子育てに熱心で、腹肢を常に動かし、新しい酸素の入った水を送り続ける。ふ化したゾエア幼生は体長1～2mmで、20～30日間プランクトン生活を送り(浮遊生活)、4～8mm程度の小さなエビになる。そして岩や水生植物などに隠れて生活する。
生息場所	おもに沼や池、水田、水路でも見られる。
食性	雑食性である。
生息環境への配慮事項	
引用文献： 田んぼの生き物図鑑 山と溪谷社, 滋賀の水生動物 新学社 (ヌマエビ) を改変	